

令和5年度市政懇談会で出された質問・意見等に対する回答

市政懇談会に参加いただいた皆さんが、水色の付せんに記入いただいた内容「もっと詳しく聴いてみたい取組や、疑問に思ったこと」のうち、特に多くの質問・意見等をいただいたテーマに対する市の回答を掲載しています。

なお、いただいた全ての質問・意見等は、各部署に共有させていただき、今後の取組の参考とさせていただきます。

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
発見	人口減少対策	人口減少対策の取り組みで成果がでていることが確認できました。ありがとうございます。菊川市の人口を年齢別、国別などに分けて統計しているか。どの年代が流出が多いか、また対策はしているか	「菊川市の人口を年齢別、国別などに分けて分析しているか」について、市では毎月、部長級以上の職員が参加する会議で人口増減や外国人住民の割合、自然増減や社会増減の状況等、人口に関する統計資料を共有しています。「どの年代の流出が多いか」については、人口ピラミッド（男女別に年齢ごとの人口を表したグラフ）を見ると、やはり20代前後の人口が極端に減っています。もう少し細かく分析すると、10代の転出が多く、県外の大学に行ったり、就職したりということで、菊川を離れてしまう方が多いのではないかと考えています。県外に出て行った方が、大学を卒業したり、勉強を終えた後に戻ってきてくれるのが良いが、静岡県全体でも昨年卒業した大学生のUターン率は36%でした。東京に近い、名古屋に近いということで、進学しやすいかもしれませんが、なかなか帰ってきていただけないという静岡県独特の課題であると考えています。	企画 財政 部
発見	人口減少対策	菊川市は若干ではあるが人口が増加していて、若者人口比率も高い。分析およびそれを活かした活動ができないか。また、すでに実施しているのか	「人口分析を踏まえた取組」について、県外に出て行った若い人たちに帰ってきていただくためには、やはり魅力的な働く場所が必要だと考えています。現在、新たな企業に来ていただくための企業誘致活動や、逆に、全国規模の事業再編で出ていってしまう企業もあるため、既存企業の引き留め等を行っています。また、もう一つの課題として、後継者の問題等により廃業する方も多くいるため、令和6年3月に菊川市産業支援センター「En-GAWA（えんがわ）」を開設し、事業承継や経営強化等の相談対応に力を入れていきたいと考えています。	企画 財政 部
発見	人口減少対策	2020年以降 約1,000人の日本人が減少しているが原因は	「2020年以降約1,000人の日本人が減少しているが原因は」について、現状では詳しい分析はできていません。人口増減には、修学や仕事等による転入・転出に伴う増減である社会動態と、出生・死亡による増減である自然動態があります。令和2年度に人口が384人減少したうち、自然動態による減少が141人。また、令和3年度に人口が313人減少したうち、自然動態による減少が150人と、自然動態と社会動態がおよそ半分という状況で、引き続き原因把握等に努めていく必要があると考えています。	企画 財政 部
発見	人口減少対策	人口問題 増加は移住か出生率の増加か	「人口増加は移住か出生率の向上か」について、両方が必要であると考えており、若い世代が住んでくれるような移住施策と、安心して出産・子育てできる環境整備が必要と考えています。	企画 財政 部
発見	移住定住	菊川市への移住者対策	「菊川市への移住対策」について、全国的に人口減少が進んでいる中、移住者の増加は菊川市でも大きな課題と考えています。やはり菊川市の場合、「ほどよい自然があり、利便性も高い」ことが一番のセールスポイントであると思います。駅や高速道路インターチェンジ等のアクセス環境や、温暖な気候等の住みやすさを、しっかり周知・PRしていくことが大切であると思います。東京都内で開催される移住相談会などに出向き、先輩移住者の声も掲載した菊川市の魅力を紹介するパンフレットを配る等、PRを行っています。また、市全体で考えれば、駅の周辺というのは人が住むには非常に魅力的なところではありますので、南北自由通路を整備し、駅北側の開発を進めることで、菊川市として人口減少を押さえる施策につなげていきたいと考えています。 実際に移住をしてくる際には、お金が必要ということもありますので、東京圏から移住し条件に合えば60万円の補助金が出ます。また、若者世帯に限りましては住宅取得に対する補助金を交付したり、結婚新生活についても、アパート代や引越し代などを支援したりする制度もございます。その他、子育て支援として今年度から子ども医療費を無償化したり、教育環境を整備したりするなど、様々な施策・制度を組み合わせながら、トータルで菊川に住みたいと思っていただけるような施策、周知・PRを進めていきたいと考えています。	企画 財政 部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
発見	移住定住	若年世代の流出防止、転出層の呼び戻し、外部からの流入、子どもを増やす。これらを実現するため、何を打ち出し、対象者の共感を得て何を実行に移すのか。私はサステブルがキーワードだと思う	「若者世代の流出防止、転出者の呼び戻し等を実現するため取組」について、大学進学等を機に菊川市を離れ、就職等によりそのまま市外に居住し菊川に戻ってこないことが一番大きな課題だと考えています。菊川市では、若者が住み続けたいと思える魅力あるまちづくりを進めるとともに、若者が地域の良さを認識し、地域づくりに主体的に参加する等、郷土愛を育む機会づくりを行っています。例えば、中学生を対象とした企業説明会を開催し、市内の農業や工業、金融業等さまざまな分野の企業から、仕事のやりがいや菊川市で働くことで得られる幸せなどを伝えていただいています。また、市内2つの高校、小笠高校と常葉大菊川高校と連携協定を締結し、高校生が地域について学び、考えることで地域の課題を認識し、その解決策を創り上げる過程を通して市の魅力を発見・認識することで、郷土愛を育むといった事業を実施しています。また、転出そのものを抑えるのはなかなか難しいですが、住む場所や、働く場所を整備していく事で、新たな流入につなげていきたいと思っています。	企画 財政部
発見	移住定住	若者たちが転出していかない具体的な対策が欲しい。これは全国的に田舎が抱える問題だと思う。20、30年後に空き家だらけにならないよう楽しい、ここに住んでよかったと思うような取り組みを行政に期待している	「若者が転出していかないため、ここに住んで良かったと思える取組」について、市外に出て行った若者がいかに戻ってくるかが非常に大切だと考えています。若者の中には、「市内には働く場所がない」と思い込んでいる率が非常に高いですが、実際には「ない」のではなく「知らない」だけだと思っています。菊川市では現在、中学生を対象としたキャリア教育を実施していますが、小学生の段階から知ってもらうことも必要だと思います。昔は工場見学というと、県外の工場等へ行くことも多くありましたが、最近は、できる限り地元の企業や農業関連の施設等を見学するようにしています。また、市内の工場や企業の方へお願いして、授業の中で仕事の内容をお話してもらうなど、早い時期から、菊川のことを子どもたちに知ってもらうふるさと未来塾を行っています。	教育 文化部
発見	移住定住	街の幸福度ランキング、2022年9位から3位になった理由か	「街の幸福度ランキング、2022年9位から3位になった理由は」について、このランキングは、アパート賃貸事業などの大手、大東建託株式会社が実施している調査です。実際に住んでいる人が「どのくらい幸福だと感じているのか」、また、今住んでいる街に「これからもずっと住み続けたいか」を調査したもので、静岡県内では1位が浜松市西区、2位が長泉町、3位が菊川市、4位が浜松市浜北区となっています。調査結果には「なぜ幸福だと感じているか」等の理由はありませんが、市では毎年、市民の皆さんを対象とした市民アンケートを実施しています。令和5年はおおよそ1,000人の方に回答いただきましたが、「総合的にみて、菊川市は住みよいところだと感じますか」という問いに対して、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した方の合計が87%となりました。また、「暮らしの実感」について満足度が高かった項目は、「上水道が安定して供給されているまち」「身近に犯罪がなく安心して暮らせるまち」「安全・安心で魅力ある農産物が生産されているまち」「安心して子どもを育てられるまち」となっています。また、駅や高速道路インターチェンジがありアクセスに恵まれていること、温暖な気候で過ごしやすさも大きな要素だと思っています。今後も、このようなアンケート結果等も踏まえながら、住みやすいまちづくりに努めていきたいと考えています。	企画 財政部
発見	情報発信	安芸高田市のように有名になった市がありますが、市長の個性が菊川でも前面に出したらどうか	「安芸高田市の市長のように市長の個性を前面に」について、様々なところで顔を知っていただけるよう取り組んでいます。今まで新型コロナウイルス感染症の影響でなかなか出向くことができず、初めて顔を見たと言われることもあります。今後も積極的に顔を出し、情報発信していきますのでよろしくお祈いします。	企画 財政部
発見	情報発信	キーワードの3つC チャンスとは何か	「キーワードの3つのCの一つ、チャンスとは」について、コロナ禍により皆さんの価値観が大きく変わり、若い方々の中にも田舎暮らしに興味を持つ人が増えています。ただ、田舎といっても買物は便利がいい、交通の便がいい、気候が良いところを希望するという中では、菊川にも「チャンス」があるかもしれないと捉えて、積極的に菊川の魅力を発信するようにしています。	企画 財政部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
発見	菊川茶PR	茶地理的表示GIとは	「地理的表示（GI）保護制度」について、地理的表示とは、特定の産地と品質、社会的評価等の特性の面で結び付きのある農林水産物・食品等の産地の名称を知的財産として保護することです。例えば、夕張メロンや越前ガニのように、産地の名称から生産地を特定でき、生産地と産品が結びついている名称表示のことです。このGIに「深蒸し菊川茶」が令和5年3月31日に登録され、地域と結びついたお茶の品質、製法、評判、物語が国に認められました。お茶に関していえば九州の八女茶と全国二例となり、静岡県内では、お茶の登録は初め県内四件目の登録となります。国内では、まだまだ認知度の低いGIですが、海外では特に欧州などでGIの認知度は高く、取引価格もGI登録されたものかどうかでかなりの差があります。また、登録されたことで、これまで取引のなかった、県外の茶商さんから引き合いがあったり、首都圏の百貨店で長期にわたってイベントを開催していただいたりするなどの事例も増えています。また、タイのGI20周年記念式典に参加する農林水産省の職員に菊川のお茶をもって行っていただき、PRしていただいたところ、大変評判が良かつ聞いています。このGI登録を契機に「深蒸し菊川茶」が国内外に広く認知され、ブランド力を高めるとともに、輸出による販路拡大や国内消費拡大に取り組んでまいります。	建設経済部
発見	菊川茶PR	深蒸し茶菊川茶GI取得にあたり有機栽培協議会、海外輸出協議会を作るような話が合いましたが、いつ作るのですか	「海外輸出や有機茶栽培への取組」について、昨年度、茶業振興計画を新たに策定しましたが、その取組の中で、海外への輸出や、有機栽培等の項目があげられています。海外ではお茶が人気で輸出が右肩上がりということもありまして、市としてもやはりターゲットを絞っていかねばならないと考えており、茶業振興計画の中でも、海外輸出の研究を進めていくことになっています。今年度中には、有機栽培や海外輸出に関する協議会の立ち上げを検討しており、輸出していくためには、どのように海外に持っていけば良いか等について研究を進めていきたいと考えております。また、令和5年12月14日には、「菊川茶海外輸出戦略に関する連携協定」を物流大手の佐川急便(株)と締結しました。海外物流のノウハウをもった佐川急便(株)のお力添えをいただきながら、菊川のお茶を世界に向けて売り込んでいきたいと考えています。	建設経済部
交流	レンタサイクル	レンタサイクル事業について	「レンタサイクル事業立ち上げの経緯」について、外からの目線で菊川市を見てみると、意外と面白いお店や良い風景があります。例えば茶畑の風景について、市内の方と市外から来た方では印象が違うということが分かります。また、実際に自転車で菊川を巡ってみると、道路や堤防が走りやすく、自転車でいろいろな所へ行きやすいということが分かりました。このような中、来訪者を増やすためにはまず、どういった方が来ているのかを調べるデータ分析を昨年度実施したところ、意外と若い方々の宿泊が増えていることが分かりました。そのため、このような方々をターゲットに、自転車で菊川の自然やお店等を巡るような仕組みを作れば、楽しんでいただけるのではないかとということで、レンタサイクル事業を今年度立ち上げました。 事業を始めた令和5年8月には、モデルの方にレンタサイクルで菊川市内を走っていただき、モデルコースなどを紹介させていただきました。また、この事業が本当に受け入れられるかの確認を、Google広告を使って実施しました。首都圏の若い女性をターゲットに、レンタサイクルを使った楽しみ方をGoogle広告に出しました。150万回数くらい広告を出したところ、8,000回くらい見ていただいた。割合とすると0.49%になりますが、観光分野において広告を見ていただける平均が0.47%になります。平均より少し高い割合ということ、このコンテンツは受け入れられるという確認が取れたため、今後、さらなるプロモーションを実施していこうと考えています。	建設経済部
交流	レンタサイクル	菊川駅前のレンタサイクルの貸し出し場所が分からないので教えてほしい	「レンタサイクルの利用方法」について、市内に貸し出し場所が2カ所あります。1カ所は菊川駅前ステーションということで、菊川駅南の歩行者専用道路を南下していただき、以前ヤスタヤというおもちゃ屋があった場所で10台設置しています。もう1カ所が小菊荘に5台設置しています。事前に菊川市観光協会へ予約していただくことで利用いただけます。自転車は楽にこぐことができる電動アシスト自転車、ヘルメットの貸与も行っています。事業を開始した令和5年8月から令和6年2月までは無料で誰でも使えるようになっています。	建設経済部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
交流	レンタサイクル	レンタサイクルの利用実績は	「レンタサイクルの利用実績」について、8月は4人でしたが9月は19人に増えました。これは主に、県外の方が市内の歴史文化施設を見に来る目的での利用が多かったです。その後、10月に25人、11月には46人と増えてきています。客層も若い方で、市内のお店を回る方が少しずつ増えてきており、ターゲットに合わせたものに近付いてきていると感じています。今後、プロモーション等を実施するとともに、サービスをさらに向上させ、多くの方に地域を回っていただけるような事業にしたいと考えております。	建設経済部
交流	レンタサイクル	レンタサイクルは2月以降どのように運営するのか	「今後のレンタサイクル運営方針」について、令和5年2月までは無料で利用いただけますが、これ以降はいくらか料金をいただくよう検討しています。金額等を設定した後、周知していきたいと思っております。	建設経済部
交流	レンタサイクル	電動自転車に対応した道路になっているのか、もっと走りやすい道を	「もっと自転車が走りやすい道路」について、なかなか自転車に対応した道路整備が追いついていないのが現状です。しかし、菊川の堤防道路は舗装されており、サイクリング等で利用される方も多くいらっしゃいます。これ以外にも、自転車で走りやすい道もありますので、ぜひ皆さんで選んでいただいて、自転車で菊川を巡っていただきたいと考えています。	建設経済部
交流	観光交流	菊川市に人が集まる対策がもう少し多くあってもいいように感じた	「人が集まる対策がもう少し多くあってもいいように感じた」について、できる限りいろいろな取組を実施していきたいと考えています。コロナ禍でさまざまなイベントが中止・縮小されていましたが、令和5年になって少しずつ実施できるようになってきました。産業祭や夜市など市や関係機関が主催するイベントが開催されましたが、「菊川バル」というイベントや、文化会館アエルを会場としたバイクイベントなど、市民の方が中心となった全国規模のイベントも多数開催されています。	企画財政部
交流	観光交流	掛川市に比べて活気が無いように見えるのはなぜか	「掛川市に比べて活気が無いように見える」について、掛川市は駅周辺に人が集まりやすい場所があり、軽トラ市などが定期的に開催されています。実は菊川も、駅前を中心にさまざまなイベントが開催されています。また、駅周辺に限らず、おがさセントラルパークでは今年度、「肉フェス」というイベントも開催されましたが、発信の仕方も含めて広報がまだまだ足りないと考えています。「菊川が元気になった」と、多くの皆さんに思ってもらえるよう、イベントの開催も含めて、市民の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと考えています。	企画財政部
交流	観光交流	観光スポットの中身、例えば横地太郎など整備は県立公園だからできないのか	「横地城の整備はできないか」について、横地城跡は菊川城館遺跡群ということで、高田大屋敷遺跡とセットで国の指定文化財になっています。城館遺跡群整備委員会に専門家の皆さんにも参加いただき、どのような整備をしていくのかを検討しています。令和3年度に整備計画を作成し、現在はそれを徐々に進めていこうという段階です。まだ、具体的な工事には入っていない状況ですが、今後少しずつ進めていく予定です。主な工事としては、園路の整備やサイン看板の整備等です。また、横地城は高い場所です木の伐採等を行い、もう少し景観を良くして、皆さんに来ていただけるようにしていこうと考えています。国の指定文化財ですので、国から補助金をいただき、また、国の許可がないと整備できませんので、国へ申請等を行い、少しずつ進めていきたいと考えています。整備が進んできましたら、皆さんもぜひ訪れていただき、宣伝いただければと思います。	教育文化部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
交流	観光交流	菊川を知ってもらおう、そのための情報発信や様々な史跡や施設の整備が全くできていない。観光客数は県下35市町の中で31番目。市の中ではダントツのビリ。この現状をどう受け止め、どのようにしたいか	「菊川を知ってもらおう、そのための情報発信や様々な史跡や施設の整備が全くできていない」について、おっしゃる通り、菊川市は観光面が大変弱いところと認識しています。コロナ禍前は、国策として観光を何とかしよう、インバウンドも含め多くの方に来てもらって、お金を回しているというお話もありましたが、菊川市としては、今、菊川にあるものをしっかり紹介して来てもらえるようにしていくことが大事なかなと思っています。例えば、市民が主体となって開催されているオートバイのイベントには、全国各地から400台以上のバイクが集結しました。こういった取組も、しっかりと広報・紹介していきたいと思います。観光交流客数が低いというのはご指摘のとおりかと思っていますので、しっかり取り組んでいかなくてはいけない部分と考えています。	建設経済部
関係	若者活躍	こどもや若者のまちづくりへの参画とは、どのようなことをイメージするか	「こども・若者のまちづくりへの参画」について、最初に国の動きや背景を説明すると、令和5年4月に「こども家庭庁」が創設され、時期を合わせまして「こども基本法」という法律がスタートしました。この法律の中では、こどもに関する施策を国や自治体が策定したり、実施したりする際には、「当事者であるこどもや若者の意見を聞かなければならない」ということが定められています。これまで「こども」というと、支援の対象であったり、保護の対象であったりという捉え方が多かったものが、今回はまちづくり、地域づくりの主体として、こどもや若者を捉えていくことが、国においても明確に示されました。 このような背景がある中で、菊川市ではこれまでも、中学生や高校生、そして大学生など若者の声をまちづくりに生かす取組を進めてきました。また、若者が自ら実践をして、地域づくりに参加するという活動が盛んに行われてきました。こうした素地があったからこそ、全国規模の「わかものまちなみサミット」が今回、名古屋、京都に続いて、人口5万人以下の菊川市で開かれることに繋がったのではないかと考えています。	総務部
関係	若者活躍	わかものまちなみサミット他県・市からの参加は	「わかものまちなみサミット2023」について、NPO法人わかものまちなみサミットが主催する全国規模のイベントで、全国からわかものまちなみづくりに取り組む実践者や当事者である若者、自治体関係者など200人以上が参加しました。市役所庁舎東館「プラザきくる」と、常葉大学附属菊川高校の講堂を会場とし、全体会では、菊川市の取組発表のほか、こども家庭庁の参事官や鯖江市役所JK課の高校生が発表しました。午後からの分科会では、東京都や金沢市、尼崎市、新城市など、全国各地の事例発表があり、有意義な意見交換の場が設けられた他、マスコミ等からも注目を集めるイベントになりました。	総務部
関係	若者活躍	菊川市こどもわかもの参画宣言	「菊川市こども・わかもの参画宣言」について、「わかものまちなみサミット2023」のクロージングセッションで発表させていただきました。これは、これまで菊川市が進めてきたこども・若者の声をまちづくりに反映させるという姿勢をより明確にして、市民の皆さんはもちろん、企業も、NPOの皆さんも、このような姿勢を持つことを明確に示すということで宣言させていただきました。宣言文の策定には、令和5年6月に、市民協働センターが中心となり、高校生・大学生を含む若者当事者6人と、市民活動団体・高校教員・企業・行政関係課で「菊川市こども・わかもの参画協議会」を組織し、内容について協議を重ねました。また、市内中学生、高校生への意識アンケートや、市内高校生によるワークショップを実施するなど、若者当事者の意見を、できる限り反映したものとしました。宣言では、こども・若者は「自らの想いや意見を発していくこと」。また、行政だけではなく、地域を含めた大人は、「こども・若者が意見を表明できる機会を確保し、その意見を反映するように努めること」が指針に定められています。市としては、こども・若者の声を市の施策に反映させていく姿勢をさらに前に進めていきたいと考えていますので、それぞれの地域においても、こども・若者の声を聞く取組を進めていただければと考えています。	総務部
関係	若者活躍	若者の参画するまちづくりの内容を知りたい	「若者と地域との取組事例」について、地域、特にコミュニティ協議会と、高校生・大学生がコラボした協働事例が、たくさん生まれています。一例を紹介すると、令和5年8月、西方地区の高校生が、小学生に宿題を教える会を開催したいというのを発案しました。これに賛同した多くの高校生・大学生が参加した他、コミュニティ協議会の役員の皆さんにも参加いただきました。宿題が終わった後は、一緒にゲームを楽しむなど、三世代交流の場となりました。他にも、小笠南地区コミ協のイベントを大学生が運営するなど、地域コミュニティにおける若者の活動が広がっています。今後、このような活動を実施してみたいという場合は、市民協働センターでご相談をお受けしていますので、ぜひご利用いただければと思います。	総務部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
関係	若者活躍	わかものの取組などへの予算はどうか	「若者のまちづくりへの参画に係る予算」について、若者がまちづくりや地域づくりに参画することは、地域やまちの活力を維持していくためには欠かせないものであると考えています。菊川市ではこれまで、中学生・高校生・大学生や20代・30代の若い方から、「こんなまちを作りたい」「こんな市になってほしい」といった、まちづくりに対する提言をいただいたり、提案した方が自ら実践する取組に対する支援を行ったりしてきました。市民協働センターが核となり、様々な団体等に協力いただきながら、わかもののまちづくりを進めてきました。また、菊川市には1%地域づくり活動交付金という、地区コミュニティ協議会やNPO法人など市内団体の皆さんが活用いただける制度があります。この中に、学生団体という枠を設け、1団体10万円を限度に申請を受け付けています。この制度に学生団体の皆さんがエントリーしていただき、庁舎東館周辺の賑わいづくり活動など、さまざまな活動に活用いただいています。「わかもののまちサミット2023」において、全国初となる「菊川市子ども・わかもの参画宣言」を発表させていただきました。この宣言の主旨を受け、次年度以降に新たな支援の仕組み等も検討し、予算にも反映させていきたいと考えています。	総務部
関係	若者活躍	教育行政について（高校とのかかわり方）	「市教育委員会と高校との関り」について、高校は市教育委員会の所管ではないため、「交流」という形で連携させていただいています。まずは高校を知っていただくことを目的に、今年度は中学生と高校生合同の挨拶運動を実施しました。市役所前の交差点で朝の時間に実施し、生徒たちにも好評で、良い交流ができたと感じています。	教育文化部
関係	産業支援	菊川市産業支援センターについて詳しく聞きたい	「産業支援センター開設の経緯」について、令和4年に、農業や工業、商業など、いろいろな分野の方が参加する市の地域経済活性化推進会議から提言をいただきました。この前に、商工会の会員さんを対象にアンケートを実施したところ、「将来、事業を承継する人がいない」と答えた人が54%でした。さらに、「親族の中に事業を承継する人がいるか」という問いには、85%の方が「いない」と回答しており、後継者の問題や事業承継などについてワンストップで相談できる機能が欲しいということで、産業支援センターを開設することになりました。	建設経済部
関係	産業支援	産業支援センターの具体的な内容を説明してほしい	「産業支援センターの具体的な取組」について、産業支援センターには市直営で職員が市内事業者からの相談をお受けするスペースと、民間事業者に運営委託するコワーキングスペースを設けます。コワーキングスペースでは、市外から出張に来た方などが、少しの時間仕事をしていただく場所として利用いただければと思います。また、市外から新しい発想を持った方や、新しい事業に取り組むスタートアップ企業の方等が来ていただいた際に、産業支援センターで相談を受けた案件とマッチングさせることで、課題の解決や、事業承継などに繋げていきたいと考えています。令和6年3月にオープンする予定ですが、手探りで進めていく部分もあろうかと思っています。カフェスペースなども設ける予定ですので、なるべく皆さんが気軽に立ち寄っていただけるような施設にしていきたいと思っています。	建設経済部
関係	産業支援	人口減少対策並びに地域経済の活性化。産業支援センターの活用	「人口減少対策、地域経済の活性化に向けた産業支援センターの活用」について、人口減少対策として市では様々な事業を実施していますが、やはり雇用が非常に大切になってきます。働く場所がないと、首都圏に出た子どもたちが帰って来ないことも考えられますので、企業誘致や工場等の増設による新たな雇用の創出が必要であると考えています。また、新たなビジネスの創出を期待して産業支援センターを開設するわけですが、首都圏の大学に行っている方が、興味を持って戻ってくる可能性もありますし、スタートアップ企業と市内企業のマッチングにより新しい産業、新しい働く場所が創出される可能性を秘めています。このような取組も期待しながら、産業支援センターを運営していきたいと思っています。	建設経済部
関係	産業支援	若者の雇用機会拡大の施策について	「若者の雇用機会拡大の施策」について、大手企業の社長さんとお話しさせてもらう機会がありますが、「若い方に来てもらいたいけど、集まらない」という声をお聴きすることが多い。「募集をかけているけど集まらない」「工業高校を卒業した生徒が欲しいけど一人も来てくれない」など、就職してくれる若者が少なく困っている企業が多いのも現状です。雇用機会を拡大する施策も必要ですが、働き手を多く作ることで、若者にできるだけ菊川に来てもらうことも大事であると考えています。	建設経済部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
関係	産業支援	企業に対して、人材派遣といった雇用形態ではなく、正社員化を進めるよう市や地域から促してほしいということをお願いしたことがありますが、それについての状況はどうなっていますか	「企業に対して人材派遣といった雇用形態ではなく、正社員化を進めるよう市から促してほしい」について、小笠掛川地区の雇用対策協議会という会議の中でも、同じような話ができました。雇用対策協議会は、行政や商工会、連合静岡などが参加する懇談会です。やはり正規・非正規の雇用の話はありまして、求人をしてなかなか来ないであるとか、雇用してもすぐに辞めてしまうとか、転職してしまうといったお話もありました。雇う側もいろいろな悩みがある中で、正規・非正規というところは改善されている部分と、されていない部分があるかと思っています。これからも、このような場を通じて、それぞれの立場で、皆さんの要望などをつなげていきたい、訴えていきたいと思っています。	建設経済部
関係	農業振興	農業従事者の減少、人口減少、高齢化対策は	「農業従事者の減少対策」について、全国的な課題ではありますが、高齢化等により農業従事者は減少が続いています。昭和60年に市内で茶を生産する農家数が2,969戸あったものが、令和2年度には561戸まで減少しています。実際に耕作されなくなってしまった畑もありますが、地域で手広く耕作している方に畑を任せるケースも増えています。現在、その農地を将来、どの人が耕作していくのか等の計画を地区の方で考えていただいております。市としても農地の集積・集約や、意欲ある担い手が効率よく作業を進められるようにお手伝いをさせていただいています。また、農業や茶業従事者からの相談につきましても、産業支援センターでお受けしたいと考えており、都内で農業関係の新しい仕事を展開している事業者への訪問（意見交換）等も行っています。	建設経済部
関係	農業振興	耕作放棄茶園の活用取り組み	「耕作放棄地活用の取組」について、やはり斜面の畑等はどうしても荒れてしまっています。茶業振興計画の中でも、今まで相当数あったお茶畑を閉めて、開墾し整備された圃場を残していくことを考えています。また、斜面や耕作放棄された茶畑につきましては、やる気のある農業者に活用いただき、他の作物を作っていただくという取組も進めています。このような取組には、国・県・市も補助制度をもっており、支援しているところです。最近では、レモンを植えたというお話も聞いており、お茶畑の後にどのような作物が適しているかについても、農協等とも連携しながら研究しています。茶畑の後は酸性が強く、他の作物を育てるのになかなか難しいということで、土壌改良等を行う場合にも市で補助しています。このような取組を通じて、耕作放棄を食い止められれば良いのですが、実際に耕作放棄地は増えていく方が多いという現状がございます。もし、新しい作物を作ってみたいという方がいらっしゃいましたら、ぜひ農林課にご相談いただければと思います。	建設経済部
関係	農業振興	大型有害鳥獣への対応や考え	「大型有害鳥獣への対策」について、イノシシの捕獲に関しては毎年、猟友会に委託をしています。近年の捕獲状況ですが、令和元年度が142頭、2年度が125頭、3年度が95頭、4年度が169頭、今年度は9月までの集計で42頭となっており、やはり被害は多くあります。まずは全体数を減らすことが必要かと思っておりますので、引き続き猟友会への委託を継続していきたいと考えています。また、個人でできる対策としては、畑の周りに電気柵を設置していただく等があり、農林課の方で上限5万円ですが補助金も用意していますので、活用いただければと思います。	建設経済部
定住	子育て環境	少子化に対する対策はどうしているか	「少子化対策」について、こども未来部で取り組んでいる事業を二つ紹介させていただきます。まず、出産子育て応援金ということで、妊娠した時と子どもが生まれた時に5万円ずつ応援金を支給し、出産・子育てに係る経済的な負担を軽減するよう取り組んでいます。もう一つは、お名前入り絵本「きくすくブック」のプレゼントです。菊川市では、生後4か月までのすべての乳児家庭を訪問し、親子の心身の状況等を確認する「乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）」に合わせ、子どもの名前が入られるオリジナル絵本をプレゼントしています。誕生の記念、思い出にもなりますし、親子のコミュニケーションツールとして利用していただくために実施しています。	こども未来部
定住	子育て環境	横地保育園は40数年前に地域の幼児たちに充実した幼児教育を提供したいという先人の熱意で誕生しました。しかし、時として菊川市の基準によって横地保育園の入園を希望したにもかかわらず、他園へ回されることが起こっています。設立の趣意に基づき特例を設けて地域の幼児に優先権を与えていただきたい	「保育園設立の趣意に基づき特例を設けて地域の幼児に優先権を与えていただきたい」について、入園希望者の入園調整については、子ども・子育て支援新制度、児童福祉法に基づき、市町村が、入園入希望者の①保育の必要性の事由（就労、妊娠・出産等、保護者の疾病・障害等）、②保育必要量（保育標準時間、保育短時間）、③優先利用（ひとり親世帯、生活保護世帯、子どもが障害者等）を踏まえ、入園希望者ごとに、保育の必要性について優先順位付けを行っています。実際に優先順位付けを行って入園希望者を決定するに当たっては、市町村ごとに基準表（点数表）を作成して点数化しており、市町村によって多少違いはありますが、菊川市では、【基準点】保護者の状況、【調整点①】世帯の状況、【調整点②】祖父母の状況により点数化しています。ご要望の「特例を設けて地域の幼児の優先権を与えてほしい」とのことですが、子ども・子育て支援法に基づき、先ほど申し上げたとおり、ひとり親世帯、生活保護世帯、子どもの障害者等、生活が困難な状態については、優先的な加点がありますが、それ以外の優先的な加点項目や、優先的な権利はありません。設立の趣旨等、優先権を与えてほしいというお気持ちはわかりますが、現在の法に基づいた優先付けでは、菊川市独自の優先権を与えるのは困難であります。今後も市内の入園希望者が、希望する園へ公平に入園できるように調整していきたいと思っておりますので、ご理解をお願いします。	こども未来部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
定住	子育て環境	最近の横地保育園は設備の老朽化により毎年多額の修理費を要しています。今後とも園を運営していくためには、何らかの決断をしなければならない時期を迎えています。その場合、定員を減らすことが合理的だとは思いますが菊川市においては長期的な展望による乳幼児の受入計画を作ってもらいたいです	「長期的な展望による乳幼児の受入計画を作ってもらいたい」について、本市には少子化による児童数の減少や女性の社会進出の拡大等に伴う、保育ニーズの高まりと幼稚園の園児数の減少を考慮し、認定こども園の動きを促進させるとともに、適正な集団規模、施設配置、市内幼保施設のあり方を見直す計画として、「菊川市幼保施設整備計画（基本方針）」があります。本計画は、平成30年2月に策定され、計画期間は令和9年度までの10年間としており、園ごとの入園・受入計画の項目はありませんが、令和4年度には、中間見直しを行い、保育所、幼稚園等の令和10年度までの全体の入園見込み数について、見直し（保育ニーズの増、教育ニーズの減）を実施しています。ご要望の「長期的な展望による受け入れ計画の策定」についてですが、利用希望者の状況（勤務先、通勤経路等）により、毎年の市内園ごとの保育や教育ニーズを推計して、その受け入れに関する計画を立てることは困難であり、計画書策定の予定もありません。今後も、市内各園と連携を密に取りながら、状況に応じて定員見直しの協議を実施し、市内全体の入園の調整・バランスを図り、入園希望者の受け入れを進めていきたいと思ひます。	こども未来部
定住	子育て環境	子ども医療費無償化良いことだと思う。財源は何か？税金が高くなる懸念はないか？将来に負担を先延ばしすることはないか	「子ども医療費無償化により将来に負担を先延ばしすることはないか」について、子ども医療費の無償化は、これまでお子さんが病院にかかる、1回あたり500円を月に4回まで負担していただいていた。そのため、よく病院を利用する世帯だと、月2000円を負担いただいていた。近隣には、すでに無償化を実施している市町がありました。菊川市ではコンビニ受診を抑制するため一定の負担をお願いしてきました。しかし、近隣市町で無償化が進んできていることを、子育て世代のネットワークで情報を得た方から、「菊川市はまだ医療費かかるんだよね」「菊川も無償化してほしい」という声がありました。市といたしましても、若い世代が菊川市を選んでくれないということは、大きな損失につながりますので、令和5年10月から無償化することとなりました。無償化に係る予算はおよそ3,000万円から4,000万円と非常に大きな金額です。財源としては一般財源、市民の皆さまからの税金を当てることとなりますが、さまざまな事業に係る予算を調整する中で財源を捻出していくこととなりますので、無償化を実施するために全体の税金がすぐ上がるということではありません。	こども未来部
定住	子育て環境	子ども医療費無償化、費用がかかるけど今後に向けて大切な取り組み、少子化対策としては有効なのでPRしてほしい	「子ども医療費無償化は少子化対策として有効なためPRしてほしい」について、子育て支援を充実させる中で、若い世代・子育て世代が菊川市に住んでいただければ、市民税が入ってきますし、家を建てていただければ固定資産税も入ってきます。なにより、持続可能なまちづくりのためには、若い世代、子どもがいるということは活性化にもつながりますので、PRしていきたいと考えています。	こども未来部
定住	教育環境	令和5年度施政方針の中で教育環境の整備を進めるとある。当自治会内の通学路で菊川に架かる「小川端橋」があります。交通量が多く、太鼓橋で見通しが悪い。子どもの通学路としては危険が多い。交通量調査により優先して歩道橋を設置していただきたい。子育て環境整備として直ちに取り組んでもらいたい。優先順位はどのように考えているのか（危険度数値化するべき）	「子育て環境整備として通学路は優先して整備してほしい。優先順位はどうかんがえているか」について、通学路はなるべく優先順位を高くして整備を進めているところ。現在、小笠地域の青葉通り嶺田線の整備を進めていますが、小松洗橋という非常に細い橋が架かっています。総事業費25億円以上を想定していますが、まずはこちらを進めていきたいと思ひています。市内には他にも危険箇所はいくつかあり、同時に進めることができれば良いですが、限られた予算の中で優先順位をつけながら実施しておりまして、歩道橋を架けたりすると、どうしても大規模な工事になりますので、それ以外なるべく安価で対策ができればと考えており、グリーンベルトの設置等も進めています。また、白線が消えかかっている場合につきましても、なるべく通学路を優先して進めていきたいと考えています。先ほども申し上げたように、同時に進めることができれば良いですが、職員が現場を確認し、危険度等を考慮しながら優先順位をつけ、順番に進めているところ。です。	建設経済部
定住	教育環境	掛川市では小中学校の統廃合計画が策定されていますが、菊川市にはその計画がありますか。もし、横地小が統合の対象になった場合、横地保育園への影響が大きいと思ひますのでお尋ねします	「掛川市では小中学校の統廃合計画が策定されていますが、菊川市にはその計画がありますか」について、掛川市において、学校再編計画が策定され、その中で小規模な学校の統合が示され、それに向けた検討が行われていることは承知しています。また、その他の近隣市においても新しい学校づくりが進められています。それぞれの市において、その市の課題解決に向けて進められているものと考えます。菊川市においては、まだ学校再編の具体的な計画はありません。本年度「学校の未来を考える会」を設置し検討を開始したところ。です。具体的に学校の再編計画を検討する時期には、地域の方々や関係者に意見を聞きながら進めていきたいと考えています。	教育文化部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
定住	教育環境	横地小の児童数が100人をきる状況であるが児童数を増やす手立ては	「小学校の児童数が減少しているが、増やす手立ては」について、充実した教育環境の整備として、通学路や校舎の整備や、1人1台のICT端末の整備などを進めています。また、中学校では、ふるさと未来塾という、市内の様々な企業の方に来ていただき菊川で起業した経緯や菊川で働く良さを企業から説明をしていただく事業も行っています。市内にどんな企業があり、どのような魅力があるのかを知っていただき、将来も菊川で仕事につき、菊川で暮らしたいと思ってもらえるよう、キャリア教育の取組を進めているところです。	教育文化部
定住	教育環境	住みやすいまちということですが、環境について通学路の管理をもっとしてほしい	「通学路の管理をもっとしてほしい」について、通学路の管理につきましては毎年、自治会等のご意見もお聞きしながら、学校から危険箇所等を報告してもらっています。その報告を基に、警察や道路管理者等、関係者で現場を確認し、どのような対策が必要なのかを検証させていただいています。通学路を変えた方がいいのか、何か整備した方がいいのか等を検討し、次の対応に繋げています。歩道を設置する等、なかなか簡単にはできないものもありますので、優先順位をつけながら、できるところから少しずつ対応しているという状況です。こちらにつきましては、毎年、継続的に実施していますので、少しずつ整備が進んでいくものと考えています。	教育文化部
定住	教育環境	人口増加は加茂地区ばかりが目立つが西中、東中の地区割り変更の予定はありますか	「人口増加は加茂地区ばかりが目立つが西中、東中の地区割り変更は」について、教育委員会では、住民基本台帳の情報などから、市内9つの小学校の児童数が将来、どのように推移するかという推計を出しています。推計を見るとやはり、増えていくのは加茂小学校だけになります。教育委員会では今年度、「学校の未来を考える会」を設立しました。将来、子どもの数が減っていくということで、今後学校をどうしていこうかという検討を始めました。まずは、どのくらいの規模であれば学校が成立するかなどを考えて、今後の計画を進めているところです。	教育文化部
定住	教育環境	柳町の小学生が菊東中に進学しますが、学区の変更はどのように考えているか	「柳町の小学生が菊東中に進学しますが、学区の変更はどのように考えているか」について、柳町の子どもは堀之内小学校から菊川東中学へ通っていますが、他にも五丁目と打上の子どもは六郷小学校から菊川西中学校へ通っています。教育委員会では、このような状況を「学区のねじれ」と呼んでおり、この問題につきましても今、学校の未来を考える会の議題として上げており、今後「学区をどうするか」や「区割りをどうするか」等の協議も進めているところです。	教育文化部
定住	教育環境	菊川21世紀型授業	「きくがわ21世紀型授業」について、平成29年度から進めている菊川市独自の取組です。現在、ICT技術の急速な進展など、社会環境が大きく変わっています。このような急速な社会の変化に対応するため、子どもたちが自分の良さを認め、いろいろな人と協力しながら、社会の変化を乗り越えていく力を身に付けることを目指すものです。具体的には、授業において子どもたちが自分で考える時間を大切に、周りの子と相談し、対話を通じて考えを深めていくことを重視しています。このような授業を進めるために、1人1台のICT端末を活用しています。昔のように、先生が一方向的に教えていく授業ではなく、対話を通じてみんなで考えていくものが、「きくがわ21世紀型授業」です。	教育文化部
定住	教育環境	子どもの様子や学校の様子なども聞きたい	「子どもの様子や学校の様子などを知りたい」について、近年、教育は変わってきました。今までは、教師の問いに対して子どもたちが答える授業が中心でした。現在は、ICT技術、1人1台のタブレットを活用して、教師の質問に対して、子どもたちが自分の考えをタブレットに書き込むと、全員が書いた考えが一瞬にしてスクリーンに映ります。それを見ながら、子どもたちが同じような考えの子たちのところに行き対話をしたり、問題解決をしたりというように授業のスタイルも変わってきました。また、全国的な傾向ですが、児童・生徒が人前で話すことが、とても上手になっています。日頃から、自分の意見を発表したり、生徒同士で対話したりする授業をやっているため、物怖じしないで発言できるという点で、成長を感じます。 一方、もう少し聞きたいという点は、昔のように外で遊んでいる子どもが見られなくなったということです。子どもだけで遊んだり、子どもだけで何かすることが少ないため、子どもたちだけで人間関係を作ったり、社会を作ったりという力が育ちません。どうしても、大人と一緒にいることが多いため、これからはこの点がうまく機能していけば、もっともっと素晴らしい力を発揮できるのではないかと思います。	教育文化部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
定住	教育環境	充実した教育環境の整備、ICT器機を活用・導入は早期にできたが実際の学力向上につながっていないのでは	「ICT器機の活用・導入は早期にできたが、学力向上につながっていないのでは」について、ICT機器につきましては令和3年度から、国のGIGAスクール構想により児童生徒1人1台端末の整備を進めています。現在市内では、小学3年生から1人1台の端末を持つようになっていきます。学力と言いますと、テストの点数を想像するかもしれませんが、市では新たな時代を乗り越えていく子どもの育成することを目標に、授業を進めているところです。具体的には、昔のように先生が教えて、子どもたちが聞くという授業ではなく、先生が課題を与え、一人ひとりが自ら考え、仲間の意見を聞いて、自分の学びを広げ深めていくことができる、そんな子どもを育成することを目標にしています。そこにICT機器を活用し、みんなの意見を取りまとめたり、プレゼン資料を自分で作ったりする授業を行っています。このような授業を通じて、これからの時代を生き抜く子どもに成長すれば良いと考えています。学力というと、なかなか目に見えないものではありませんが、引き続き教育力の向上に努めてまいりたいと思います。	教育文化部
定住	教育環境	岳洋中生徒のボランティア活動が他の中学校より少なく感じるが指導法が違うのか	「ボランティア活動が学校により差を感じるが指導法が違うのか」について、新型コロナウイルス感染の関係でボランティアを引き受けてくれる施設が少なかったことが影響しているのではないかと思います。ボランティア活動は幼稚園やこども園、高齢者施設などで実施することが多いですが、地域によって受入施設に差があることで、ボランティアの実施状況も変わってきます。学校としては、心を育むということで、ボランティア活動を推進しており、指導法による差はないと考えています。	教育文化部
定住	健康長寿	お達者度と健康増進について	「お達者度の結果とその分析」について、お達者度は静岡県独自の取組です。65歳からの平均自立期間ということで、自立して健康に暮らせる期間が長いほど良いという指標になります。また、お達者度は死亡率が低くて、要介護の認定割合が低いほど長くなります。菊川市の男性について、死亡率は県の平均と大きく変わりませんが、介護を受けている割合が少ないということが分かっています。市でも、なぜなのか要因を探っているところですが、まちづくりや自治会活動に参加される方がたくさんいらっしゃるということも、元気の証拠かもしれません。国民健康保険特定健診の結果等を見ますと、「高血圧で病院にかかっている方が多い」「メタボリックシンドロームの該当者が少しずつ高くなっている」「ヘモグロビンA1cという糖尿病の検査の数値が少し高い方が多い」という傾向が出ています。こういった結果から、日頃の食事や運動、年に1回は健康診断を受けるなど、日々の積み重ねが、健康診断の結果に表れてくると考えています。	健康福祉部
定住	健康長寿	茶ちゃっと！出張健康チェック	「茶ちゃっと！出張健康チェック」についてですが、出前行政講座としてお申込みいただくと、保健師や管理栄養士が地域に出向いて、各種計測機器を使った健康チェックや健康相談を行います。出前行政講座は地域支援課が窓口となりますが、可能であればプラザけやき内の健康づくり課にお越しいただき、日程調整や使用する計測機器について打合せいただければと思います。計測機器はいくつか種類があり、例えば体組成計と言って体重や筋肉、体脂肪、水分量、基礎代謝等が測れるものや、血管年齢の測定、簡単な貧血検査等を行えるものもあります。自治会や趣味のグループでも結構ですので、ぜひご利用いただければと思います。また、出前行政講座以外でも、地区センター等へ出向いて行う健康チェックも実施しておりますので、お近くで開催される際にはぜひご利用いただきたいと思います。	健康福祉部
定住	健康長寿	健康増進に向けた取り組み、公共のスポーツ施設を作ってもらいたい	「健康増進に向けた公共のスポーツ施設」について、市内には公共のスポーツ施設が少なく、近隣市へ出向かれている方もいらっしゃると思います。最近では市内にもフィットネスクラブなど、運動できる民間の施設が増えており、そちらに通っている方もいらっしゃると思いますが、自分に合った運動を、無理なく長く続けていただくことが介護予防や健康増進につながってきます。市では、健康マイレージという事業も実施していますので、こちらも日々の健康づくり、生活習慣をつけるための一部として活用いただければと思います。	健康福祉部
定住	福祉介護	人生100年時代を自分らしくどう生きるための取組	「人生100年時代を自分らしく生きるためには」について、家庭や地域で役割を持ったり、趣味や楽しみなどの生きがいを持ったりすることが大切ではないかと思います。介護予防にはキョウイク（今日行くところがある）とキョウヨウ（今日用事がある）が大切と言われます。グラウンドゴルフに行く、趣味のグループに参加する、体操教室やフィットネスクラブに通う、地域の会合に出席すること等、キョウイクとキョウヨウを心掛けていただきたいと思います。	健康福祉部
定住	福祉介護	介護、認知症をもう少し分かりやすくしてほしい	「介護予防・認知症予防の取組」について、出前行政講座等において市独自の介護予防体操「きくがわ体操」、「菊川いきいき体操」を実施していたり、脳活セミナー、認知症予防セミナー、足腰おたっしや講座等も実施しています。お声がけいただければ、職員が出向きますのでご利用いただければと思います。	健康福祉部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
定住	福祉介護	要介護状態になった場合の支援	<p>「要介護状態になった際の支援」について、令和3年度に介護保険に関するパンフレットを全戸配布させていただきました。介護が必要になった際には、この冊子を見れば分かるようになっていますが、お手元に残っていないご家庭も多いかもしれません。主治医の先生がいらっしゃる場合は、まずは主治医の先生にお体の状態等を含めご相談いただければと思います。</p> <p>介護サービスをお使いいただく場合には、申請が必要になりますので、プラザけやき内の長寿介護課にご相談いただければと思います。また、地域包括支援センターという高齢者の相談窓口が、プラザけやきと、菊川市家庭医療センター「あかつちクリニック」の中にございますので、気軽に相談いただければと思います。</p> <p>実際に利用する際には要介護認定を受けていただく必要があり、要介護度によって受けることができるサービスが違います。例えばデイサービスに行かれている方は、何日通えるか等が変わってきます。こちらの調整につきましては、ケアマネジャーさんを付けていただいて、一緒に相談していただくようになります。まずは相談からということで、長寿介護課や地域包括支援センターにご相談いただければと思います。</p>	健康福祉部
定住	福祉介護	入所施設等の福祉サービスの現状と課題、問題点	<p>「福祉介護サービスの現状と課題」について、市内には特別養護老人ホームが3カ所あり、老人保健施設やグループホーム等の入所施設もいくつかあります。その他、デイサービスや、ヘルパーさん、訪問看護等、菊川にもさまざまな介護サービスがあります。</p> <p>今後、高齢化人口は増加をしていきます。80歳を超えたと、要介護認定を受ける人が増え、介護職員の不足が全国的な問題となっています。現在、令和6年度からの介護保険事業計画を策定していますが、サービスを利用いただくためには、皆さんからいただいている介護保険料が原資となります。利用率が上がるほど、介護保険料は高くなっていくという状況です。理想で言えば、サービスを使わなくてもいいような元気な方が増えるよう、市では介護予防に力を入れています。必要なときにはちゃんとサービスを利用いただきたいと思いますが、なるべく自立して生活していただくことが一番と考えています。</p>	健康福祉部
定住	福祉介護	介護職員の確保と待遇の改善	<p>「介護職員の確保と待遇の改善」について、高齢者の皆さんを安全で安心にお預かりすることを考え、スタッフを多めに配置するよう配慮されている事業所もあり、介護職員の確保は大変かと思えます。市としては、なかなか直接的な支援はできておりませんが、事業所を対象に災害時の対応などの研修会を定期的に開催させていただいており、職員の資質向上や事業所の運営に役立つような支援をさせていただいています。介護職員の確保や待遇改善等につきましては、国の動向等も確認しながら、市としてできることがあれば引き続き考えていきたいと思えます。</p>	健康福祉部
定住	福祉介護	手話言語に関する条例作り	<p>「手話言語に対する理解の促進」について、令和5年12月16日に中央公民館で、手話言語に関する条例のつどいが開催されました。また、9月23日の手話言語の国際デーには、プラザけやきをブルーライトでライトアップをさせていただいたり、竹灯籠を飾ったり、ろうあ部の皆さんにも協力いただきイベントを開催しました。ライトアップは、来年度も実施しようと考えており、手話言語に対する理解の促進や、手話の普及啓発に取り組んでいきます。また、市の職員、特にプラザけやきの職員につきましては、朝礼の時間を使って、一週間に一つずつ手話を学んでいます。手話に限りませんが、障がいをお持ちの皆さんの理解を深めるような取組も行っています。</p>	健康福祉部
定住	福祉介護	付近のろう者に対して災害の時の把握状況は	<p>「障がい者に対する災害時の対応」について、市としては避難行動要支援者ということで、例えば高齢の一人暮らしの方であったり、障がいのある方だったり、避難時に支援が必要な方をリストアップし、名簿を作成しています。また、今年度少しずつ進めているところですが、例えば、浸水想定区域、水に浸かりそうな区域で支援が必要な方がいらっしゃる場合には、優先的に避難していただくかはなりません。このような個別の計画も、これから少しずつ検討していく予定です。</p> <p>ただし、このような計画は一度に作成していくことができません。そのため、危機管理課で進めていますマイ・タイムライン、例えば大雨が降った際、どのような形で、誰に助けてもらい、どこに避難するか、必要に応じて近所の方や公の機関に支援してもらうか等、まずはご自分で避難の仕方を考えていただくようお願いしたいと思っています。また、福祉避難所が状況によって開設されますが、普通の避難所と同じように開設されるわけではありません。先ほど言ったように、まずは自分自身がどうやって避難するのかを、ご家族も含めて考えていただければと思います。</p>	健康福祉部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
住みやすい	道路整備	掛川・浜岡線開通の目途	「掛川浜岡線バイパス」について、赤土セブンイレブンから南側、県道・大東菊川線につながるまでの区間が、市の施工区間となります。この区間につきましては、国の補助金を活用していますので予算の関係や工程等の都合で一部令和7年度に繰り越すかもしれませんが、基本的には令和6年度予算で開通させたいと考えています。 県道との交差点部分から南側については県の施工区間になります。県道と重複している部分は現在、拡幅等を実施していますが、一部用地が買っていない場所もありますので、完全な完成期日はまだ決まっていない状況にあります。このバイパスは緊急輸送路にもなりますので、とにかく大東菊川線までタッチをさせて、利用者の皆さんが通行しやすくなるよう進めています。	建設経済部
住みやすい	道路整備	掛川浜岡線バイパスの菊川運動公園より先のこと	「掛川浜岡線バイパスの菊川運動公園より先」について、現在、赤土高橋工区ということで、赤土セブンイレブンから南側、県道・大東菊川線につながるまでの区間を、市の施工区間として整備しており、基本的には令和6年度予算で開通させたいと思っています。 南側が完成すれば、次は菊川運動公園より先の話になります。こちらは、都市計画道路名で西方高橋線といいますが、令和2年度に都市計画の変更し、運動公園から掛川市との境、つま恋の入口のところに後山トンネルのところにタッチさせる計画となっています。 整備について、菊川市、掛川市、御前崎市で期成同盟会を組織し、早期実現に向けて毎年県に要望をしています。県からも、このバイパスは緊急輸送路となっており、非常に重要性があるということをご理解いただいています。今後、県と菊川市、掛川市も含めて協議をし、前に出していくということでお話を伺っております。まだ、いつ現場のほうに着手するということとは言えなくて申し訳ありませんが、確実に進めていきたいと考えています。	建設経済部
住みやすい	道路整備	青葉通り嶺田線、小松洗橋はいつ架け替えるのか、なぜ時間がかかるのか	「青葉通り嶺田線（市道井橋堂線）」について、全長で950mを改良することになります。ポエム新月さんのところから東に向かって380mを建設課が担当する道路の区域になります。それより東側、橋を渡って掛川浜岡線の交差点を越えて、コメリさんのあたりまでの区間570mを都市計画で担当します。建設課が担当する区域、市道井橋堂線につきましては、既に用地買収等に協力いただいた方もおりますので、一部道路の拡幅工事を令和5年度から着手していきます。 小松洗橋の整備について、令和6年度から用地補償等を行い、令和8年度に現在の小松洗橋の南側に仮設橋を設けさせていただきます。仮設橋は車が通行することはできず、歩行者が通行できるものと考えてます。そのため、車につきましては、しばらくの間迂回していただくこととなります。その後、令和9年度に現在の橋を撤去し、予定では令和10年度から11年度にかけて橋の土台になる部分の工事を行います。令和12年に橋上部の工事、橋げたを架ける工事を進め、令和13年度以降に前後の取入道路を整備することによって、最終的には令和15年度の開通を目指しています。 事業費も総額25億円以上と見込んでいますが、現在の資材高騰や人件費の高騰を考えると、これ以上掛かるのではないかと考えています。国の補助金等を活用して進めているため、どうしても年数が掛かってしまいます。また、橋台を作るなどの河川工事につきましては、水が少ない時期でないと実施できないという制約もありますので、非常に長期間の事業となっておりますが、皆さんのご協力をお願いしたいと思います。	建設経済部
住みやすい	道路整備	道路の補修などの希望がたくさんあると思うが、決められたお金でどれが選ばれるか優先順位はどう決められるのか	「道路補修等要望の優先順位」について、地元からさまざまなご要望をいただきます。全て同時に採択できれば良いですが、予算の関係等もあり難しい状況です。地元から要望いただいた際には、職員が一つ一つ現地を回らせていただき、緊急度や危険度、通学路であるか等を確認し、優先順位を付けさせていただいています。そのため、1年ですぐに採択され工事が出来るところばかりではございませんので、ご理解いただければと思います。また、道路整備に係る予算の確保にも努めていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いたします。	建設経済部
住みやすい	菊川駅整備	JR菊川駅の南北自由通路整備事業の完成日は	「JR菊川駅南北自由通路整備事業のスケジュール」について、現在、自由通路工事のため東側のロータリーが使えない状態になっており、皆様には大変ご迷惑をおかけしております。まず、旧駅舎西側に仮駅舎を建設し、完成後の令和5年12月末から仮駅舎の利用に切り替え、旧駅舎は閉鎖します。 令和6年1月から、南北自由通路の工事を進めていくため、東側ロータリーだった場所を工事ヤードとして仮囲いします。白い壁で囲まれるため少し気になるかもしれませんが、ご理解いただけますようお願いいたします。そこからおよそ2年で、南北自由通路の橋をかける工事を進めていき、令和7年度末、令和8年3月には南北自由通路を供用開始させたいと考えています。その後、令和8年度に東側ロータリーの整備、それから駅北側広場の整備などを進めていく予定です。	建設経済部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
住みやすい	菊川駅整備	菊川駅南北通路の完成後、駅北の開発構想は	<p>「駅北側のまちづくり」について、菊川駅周辺の活用についてのアイデアを取り込むため、高校生や大学生、住民の皆さまとワークショップを開催しました。ワークショップでは、「駅北にコンビニが欲しい」「カフェ・飲食店が欲しい」等様々な意見が出されました。実現のためには、民間活力を導入していく必要がありますので、今後いろんな方と意見交換しながら、進めていきたいと考えています。</p> <p>駅北側を航空写真で見ると、緑が広がっている場所があり、このエリア近辺の地権者を中心に研究会を立ち上げ、新たなまちづくりの実現に向けて検討しています。まずは地権者の皆さんに、整備手法や他市の事例などを共有し、どのような整備手法で進めていくのが良いか等を検討しています。</p> <p>具体的に、いつ頃から駅北のまちづくりを進めていくかについてですが、対象のエリアには主にお茶畑、農地が多いものですから、これを農地から宅地に変えるなど手続きにも時間がかかるため、実際に着手できるのはかなり先になるのではないかと考えています。南北自由通路が令和7年度末に開通しますので、その時期には地権者の方を中心とした準備組合のようなものを立ち上げられれば良いなどと考えており、そこを目指して進めているところです。</p>	建設経済部
住みやすい	菊川駅整備	1号バイパスへのアクセスの今後の予定(東方面へのアクセス)	<p>「駅北側から国一のバイパスまでの道路計画」について、昔はそのような大きな計画もあったと聞いていますが、現時点では国一バイパスまでの道路計画はありません。駅北開発に伴うアクセス道路について、その先どうなるかについて今後の検討にはなっていますが、新幹線をどうやって越えるか等、おそらく相当な予算を必要としますので、長期的な話になってこようかと思っています。</p>	建設経済部
住みやすい	菊川駅整備	青地の指定の再検討はされるのか	<p>「駅北開発に伴う青地指定の再検討はされるのか」について、対象エリアは青地の農地がほとんどですので、都市計画法の用途指定をしていきますので、青地から除外していく予定です。</p>	建設経済部
住みやすい	菊川駅整備	菊川駅の進捗状況を広報でアピールして	<p>「菊川駅工事に係る広報」について、工事の進捗状況等につきましては、市の広報や公式SNS等を通じて市民の皆さんに随時お知らせしています。また、例えば東側ロータリーの仮囲い、白い壁を活用して周知していくこと等も可能なのかなと思いますので、J R等とも協議しながら、進めていきたいと考えています。</p>	建設経済部
住みやすい	菊川駅整備	菊川駅事業 100万円規模のクラファンの意図効果	<p>「菊川駅整備寄附金ガバメントクラウドファンディング」について、駅を作るには国の補助金を活用していきますが市の負担も多くあります。また、駅というまちのシンボルを作るに当たり、多くの皆さんにご協力をいただくことで、郷土愛を深めていただきたいという意味もあり、クラウドファンディングを実施しました。本当に多くの皆さんにご協力をいただき、目標100万円で実施したところ、目標を突破した状況です。</p>	建設経済部
住みやすい	菊川駅整備	菊川駅の改修について小笠地区としてはメリットを感じられない。駅北も他の市につながる道路もない状態で発展が見込めるか	<p>「菊川駅整備に小笠地区としてはメリットを感じられない」について、市としては駅ができ、その周辺だけが賑わえば良いとは考えていません。菊川全体を見て、駅の利便性が高まることによって、人口減少の抑制の一助になるのではないかなと考えています。今後、開発を進めていく地域では、住宅等の開発、道路沿いには店舗を誘致していきたいと考えており、駅周辺の賑わいは市全体に広がっていくものと願いを込めておりますので、引き続きご理解をよろしく申し上げます。</p>	建設経済部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
住みやすい	行政サービス	行政が一番、職員の取組は良いと思う、役職の人の対応はどう思っているのか	<p>「行政が一番のサービス業に向けた取組」について、菊川市は令和4年6月に(株)たこ満と人材育成に関する連携協定を締結しました。この協定に基づく取組として今年度、採用2年目の職員が(株)たこ満の店舗で現場実習を行いました。また、協定に基づく取組はこれだけではなく、部長、課長を対象としたたこ満会長からの講話や、たこ満の接遇トレーナーを講師に全職員を対象とした接遇研修等を実施しています。職員の接遇や挨拶が1日で劇的に変わる訳ではありませんが、このような取組を繰り返しながら、職員同士が声を掛け合い、高めあって、職場全体の雰囲気作りを進めていきたいと考えています。</p> <p>「日常のチェックは誰が行うか」について、やはり上司や先輩が声掛けをすることになると思います。ただし、上司や先輩も若手職員に指導するためには、自分自身が恥ずかしい接遇や挨拶では、当然指導できませんので、そういう意味では職員同士が高め合いながら、一步一步、職員の接遇、挨拶の向上に取り組んでいき、市民の皆さんに気持ち良い印象を持っていただけるよう取り組んで参りたいと考えています。</p>	総務部
住みやすい	行政サービス	市役所組織で縦の組織、横の組織が明確でないで新たに「横のつながり組織」について以前、長谷川市長も発信していました	<p>「市役所組織で縦の組織、横の組織が明確でない」について、まさにご意見のとおりだと思います。国も省庁が分かれており、行政の仕事はどうしても法律・条例に基づいて行うことが多いものですから、縦割りのところがあると思います。ただし、それだけでは市民生活の中で問題があるということで、できる限り横の連携を取るようにはしています。</p> <p>組織としては、各部に設置していた調整室を連携調整室と名称変更し、係長級の職員を一人ずつ配置しています。その職員が毎月1回、打ち合わせを行い、それぞれの部署で抱えている課題や、連携・調整する必要がある事業について、市民目線に合ったかたちで進めていくようにしています。どうしても、国の省庁が分かれており、県の部局も分かれている中では、どうしても縦割りになってしまう、市民の皆さんにご迷惑をかける部分がありますが、できる限り横連携をしっかりと強固にしていきたいと思います。</p>	総務部
住みやすい	行政サービス	管理部門も大切ですが営業部門の自由な動きをもう少し欲しい、どこまで可能か	<p>「営業部門の自由な動きをもう少し欲しい」について、私（市長）自身は自由に動かさせていただいて、東京の企業や官公庁などいろいろなところへ行かせてもらっています。市内には大きな企業がたくさんあり、菊川の税収に大きく寄与していただいています。このような企業の本社等には、新茶の季節など毎年必ずご挨拶に行っています。また、新たに関わりを持ってくれる可能性がありそうな企業等の関係者ともお会いしており、特に駅北側の開発に関りがありそうな企業には積極的にご挨拶へ伺っています。これは市長としての営業活動ですが、職員も含めてもっと自由に動ける営業部分に関してはこれからやっていかなければならないと思っています。</p>	企画 財政部
住みやすい	行政サービス	さらに進んだワンストップサービスの推進	<p>「さらに進んだワンストップサービスの推進」について、まず一つは、住民票等の市民課窓口で行っていただく手続き等のワンストップサービスがあります。現在、ICTが進んできていますので、マイナンバーカードを使って、市役所に行かなくても住民票や印鑑証明を取ることができるサービスも始まっています。将来的には、戸籍も連携してくることになりますので、例えば市役所に行かなくても、書かなくても良いという時代も、ICTの活用で進んでいくのではないかなと思っています。</p> <p>もう一つのワンストップサービスは支援の部分になります。来年度「こども家庭センター」を開設させていただきます。こども家庭庁ができ、こども基本法ができたことにより、全ての妊婦さん、子育て世帯、子どもへ、切れ目のない支援を行うために開設します。ここに行けば、子どものことだったら何でも相談できる。一つの窓口で対応できるということもワンストップではないかなと思っています。市役所は縦割りだなと感じることもあるかもしれませんが、ICT機器を活用したり、窓口を開設したりして取り組んでまいりますので、ご理解いただければと思います。</p>	総務部
住みやすい	行政サービス	市の行政における課題と対応策を説明してください	<p>「行政における課題と対応策」について、多くの課題と対策について市政懇談会で説明させていただきました。やはり人口減少、少子・高齢化は大きな課題です。出生数が80万人を下回るのもっと先だろうと言われていた中で、令和4年に、日本全国で生まれた子どもの数は77万人、一方で亡くなった方の数が156万人ということで、生まれてきた子どもの倍以上の方が亡くなったというのが現状です。</p> <p>人口減少、少子高齢化という中では後継者不足の問題、農業、茶業、中小企業等も含めてしっかり対応していかなければならないということで、産業支援センターを立ち上げます。一方で、多くの企業の社長とお話する機会がありますが、本社が東京・名古屋・大阪にあるような有力企業でも、菊川にある工場に勤める高校生が集まらない。大卒の技術系の方を雇いたくても応募がないというような状況もあります。こちらは、市外に出て行った若者が、地域の魅力を認識して戻ってくるような取組が重要になるのではないかと思います。また、安全安心ということがやはり一番重要な課題であると考え、防災対策や治水対策に取り組んでいます。これらは全て、菊川市だけでなく全国的な課題ということで、しっかりと対応していかなければいけないと考えています。</p>	企画 財政部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
安心・安全	治水対策	菊川水系流域、治水プロジェクトの推進	<p>「菊川水系流域治水プロジェクト」について、菊川の流域全体について国、県、市、それから関係者の皆様で協議会を組織し治水対策を推進しています。プロジェクトの一つとして、国土交通省には継続的に河道掘削を実施していただいています。やはり、根幹となる菊川本川の流れが良くなる、牛淵川の流れが良くなるのが前提にあったうえで、市としては黒沢川流域をリーディング地区として、まずは浸水常襲地帯の課題を解決していくための取組を進めているところです。今年度、岳洋中学校の校庭を利用した貯留施設の実施設計を実施しており、来年度から工事に入りたいと考えています。この施設は、岳洋中学校の敷地に降った雨を一時的に貯めて、時間を掛けて少しずつ放出することで、下流の負荷を軽減させる方策をとっていくために現在進めています。</p> <p>また、棚草川に隣接する農地に貯留施設を整備するため、現在、水を貯めるポリウムであるとか、この施設が平常時には皆さんに楽しんでいただける施設にしたいという思いも含めて検討も行っているところです。かなり広い面積で、大規模な貯留施設を作ります。いわゆる水が溜まるプールを作ることになりますが、単純にプールを作っただけで全ての内水被害が収まるとは思っていません。河川改修や河道掘削などを実施し水が流れやすくする、貯留施設を整備することで川に流れ出る水のピークを抑える等、総合的に治水対策を進めていきたいと思っています。</p> <p>また、これは市民の皆さんへのお願いになります。広報等でも周知していますが、激しい雨が降っていて川の水が溢れそうなときには、お風呂の水を流さないようにしていただきたいと思っています。雨が落ち着いた後、少し経ってからお風呂の水を流してもらう。こういった少しの取組でも河川の負荷を減らすことができ、菊川全体で言えば効果がありますので、ぜひご協力いただきたいと思っています。</p>	建設経済部
安心・安全	治水対策	黒沢川流域の治水対策、貯留施設を作るにあたって市民、特に農家の土地を使う場合、その人の収入がなくなるのではないか心配	<p>「農地に貯留施設を作ると農家の収入が無くなるのではないか」について、該当する農地につきましては現在、地域計画というものを策定しています。これは、将来的にこの農地を誰が耕作するのかという、農地と担い手を結び付け、紐づけていくような計画になります。この計画も来年度には完成する予定ですが、貯留施設ができることを前提に、地元で調整していただいていますので、耕作する方の不便にならないよう、考慮しながら進めていきたいと考えています。</p>	建設経済部
安心・安全	治水対策	健康のためのハイキング、コースの整備、親子で遊べる公園など小笠東地区にはないものがたくさんある。特に子供が遊べる公園がない。掛川・島田・藤枝・焼津市などは家族で出かけることが多い	<p>「小笠地域に運動できるスポーツ施設や親子で遊べる公園がない」について、棚草川に隣接する農地に整備する貯留施設につきましては、ただ単に水が溜まるだけのプールを作っても活用できないため、水が溜まっていない平時には、地域の皆さんにお使いいただけるような、例えば多目的広場であるとか、遊具を設置するなどの利用方法も考えながら、整備に取り組んでいきたいと考えています。</p>	建設経済部
安心・安全	治水対策	河道掘削、10年ほど前に計画がスタートしたと聞いていますが、何%まで進んでいるのか	<p>「河道掘削は何%まで進んでいるか」について、国土交通省には平成28年から河道掘削を実施していただいております、60万㎡の計画のうち、現在約31万㎡実施いただいております約50%の進捗状況です。しかし、近年は異常気象ということで気温があがり降水量も増えていますので、河川の断面を今後見直していくことになります。そうすると川幅も広がってきますが、土砂が堆積していると流下能力を阻害してしまいます。そのため、国土交通省には継続して河道掘削を実施いただくよう要望していきたくと思っています。</p>	建設経済部
安心・安全	治水対策	川床掘削にともなう老朽化施設の対策(方面対策等)	<p>「老朽化した河川施設の対策」について、国土交通省の職員が日々パトロールしていますので、対策が必要な施設が発見された場合には、順次対応いただいています。</p>	建設経済部
安心・安全	治水対策	上小笠川と菊川合流点の土砂が多く蓄積しているが計画はあるのか	<p>「上小笠川と菊川合流点の土砂が多く蓄積しているが計画はあるか」について、国土交通省も状況は把握していると思います。通常、河道掘削は下流側から進めていきますので、明確な時期は申し上げられませんが、本日このようなご意見があったということは国土交通省、それから県の方に伝えていきたいと思っています。</p>	建設経済部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
安心・安全	治水対策	奈良野の治水対策について実施された対策と効果について今後の対策は	「奈良野地区の治水対策」について、なかなかピンポイントの対策はございませんが、河川菊川の流量が多くなると、その周辺の水が川にはけなくなってしまうことから、浸水被害が発生すると理解しています。まずは、河川菊川の河道掘削を国土交通省にいち早く進めていただくことが、効果的であると思っています。また、河川整備、水治めというのは、なかなか見た目ですぐに効果が分からないのが事実で、時間も非常にかかるものです。なるべく早く対策を実施することが当然効果的であると思いますが、まずは流域治水プロジェクトということで、国・県、市が連携し、小笠地域の浸水常襲地帯への貯留施設の整備などを確実に進めていきたいと考えています。	建設経済部
安心・安全	治水対策	菊川水系の治水について小出川の川底の堆積土についてどう考えか	「小出川の川底への土砂堆積」について、小出川など県管理河川につきましても、県で浚渫や、雑木の除去等を実施していただいていますので、こちらも、引き続き県に要望をしていきたいと思っています。	建設経済部
安全・安心	治水対策	河城地区センター周辺道路の浸水対策について	「河城地区センター周辺道路の浸水対策」について、大雨などの際、河城地区センター周辺が冠水することは、県の担当者と一緒に現場も確認しています。地区センターの北側を吉沢川が流れていますが、吉沢川の断面や、沢水加川と合流する箇所でもボトルネックになっている部分があるものですから、現在のような水がはけないという現象が起きていると推察されます。県の担当課にも現状はお話していますので、今後、市の建設課と県で協議を進め、何らかの対策を検討していきたいと考えています。	建設経済部
安全・安心	治水対策	治水対策 堀田JR線北側についての予定を知りたい	「西方地区の治水対策」について、まず河川改修の関係ですが、令和5年度、西方川の東名高速道路の北側、栗林橋付近につきましても、法面にごマットを設置し、水の流れを良くするような工事を県で実施していただいています。 堀田地区のJ R線路北側の水が排水できない問題について、長年の懸案事項であることは承知しています。しかし、小中学生の通学路や多くの方の通勤経路となっており、工事をやるとなると非常に長期間通行止めにならなければならないなど多くの課題があり、なかなか具体的な工事ができない状況です。一方で、西方川の改修が進み、令和元年に県道掛川浜岡線の南側にある水路にセギを設置しました。本来この辺の水は全て堀田ガードの方に流れていきますが、セギをすることで逆側に流れ西方川に直接放流し、少しでも堀田ガード側に流れる流量を減らすための施策を実施しました。セギ板の設置等に関しましては、地元の皆さんと建設課で調整をしながら進めさせていただきたいと思っていますので、引き続きご相談いただければと思います。 防災対策強靱化事業として現在、浸水被害が多発する市南部地域の治水対策を進めています。治水は非常に長い年月を要する事業で、工事がなかなか進んでいないと感じるかもしれませんが、菊川市全体の河川情報、不具合の状況等をピックアップしながら、今後も順次計画を立てて実施をしたいと考えています。	建設経済部
安心・安全	治水対策	治水対策	「六郷地区の治水対策」について、上本所地区に下前田川という川が流入していますが、現在、堤防の工事をしています。今年度、水門ができたものですから、今後堤防等を作っていきよう進めているところです。また、牛淵川については、国が直轄で管理している部分と県が管理している部分、上流にいくと市の方が管理する部分があります。基本的には下流側から工事を進めていき、なるべく水が早く流れるようにしていきたいと思っており、国土交通省にお願ひし河道掘削を進めていただいています。県や市の管理部分につきましても、流れを阻害する木が生えてしまっている箇所があるかと思いますが、県や市の建設課で実施できるものがあれば、なるべく早く対応して流れを良くしていきたいと思っています。	建設経済部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
安全・安心	防災対策	防災強靱化事業	<p>「菊川市防災対策強靱化事業基本構想」について、現在大きく分けて二つの事業を進めています。一つ目は浸水・冠水被害の軽減ということで、国・県と連携し菊川水系流域治水プロジェクトを推進しています。もう一つは、市役所敷地一帯の防災機能の強化です。令和5年度に進めていた本庁舎北館の解体工事が終わり、現在は一部を駐車場として利用できるようになっています。この場所に今後、市役所本庁舎から独立した災害対策本部棟を新設します。また、建替えを行う堀之内体育館と災害対策本部棟を一体的に整備していく予定で、自家発電設備や太陽光など停電時の備えも行います。この施設は、平常時はスポーツを行うなど市民の皆さんの憩いの場となりますが、大規模災害が発生した時には、自衛隊や警察、それからライフライン関係の電気・ガス・水道に関係する応援部隊を指揮する部隊に入ってください、菊川市の災害対策本部と連携・調整する中で復旧復興を進めていこうと考えています。それから、図書館の北側にある旧町部地区センターにつきましても解体し、平常時には市民の皆さんに駐車場として利用していただくよう考えていますが、大規模災害が発生した時には、実動機関等の参集・待機に備えた駐車場として利用するよう考えています。また、市役所本庁舎の外壁の剥落が懸念されるため、今年度から、外壁剥落防止工事を実施しています。これから本庁舎周辺で様々な工事が始まりますので、市民の皆さまにはご迷惑をかけるところがあると思いますが、ご理解をよろしくお願いいたします。</p>	危機管理部
安心・安全	防災対策	年々と自然災害が大きくなりつつあるため市の防災状況について深く知りたい	<p>「市の防災対策」について、まずハード面としましては、防災用資機材の整備を進めています。近年は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、これまでの備蓄品を見直し、万が一の大規模災害に備えるよう整備を進めました。また、防災体制の強化に向け、コロナ禍でなかなか人を集めた訓練を実施できていませんでしたが、令和5年度は水防訓練に水防団の皆さんにも参加いただき、通常の訓練を実施することができました。実施することで反省点が出ますので、反省点について協議する中で、更なる対策を図っていきます。12月の地域防災訓練では、地域の防災力「共助」について確認いただいています。行政だけでは大規模災害は乗り切れませんので、地域の皆さんに協力いただくためにも、訓練を重ねることで大規模災害に備えていきたいと考えています。</p> <p>ソフト面につきまして、危機管理課では令和3年度に「ハザードマップ」、令和4年度には「防災ガイドブック」を全戸に配布させていただきました。ハザードマップには、各地域の浸水想定等が掲載されている他、災害発生時に自分はどこに、どのように避難したら良いか等の「マイタイムライン」を記載いただけるようになっています。配布しただけでは、なかなか使い方も分からないということもありますので、危機管理課では出前講座として地域や各種団体を訪問させていただいていますので、ぜひご利用いただければと思います。</p> <p>また、防災活動について市役所だけでは対応できない部分が多いということで、市内企業等との災害協定締結も進めています。例えば物資を受け取った際のリフト運転など、企業の方に協力いただく中で防災力の向上を図っているところです。さらには、今年8月から危機管理課の専門監として、陸上自衛隊OBで、退職後に静岡県の危機管理部に勤務していた方に就任いただいています。現在は主に、市役所内の災害対応時の総合調整や職員育成の分野において力を発揮していただいています。さまざまな知識・経験を持ちますので、地域の皆さんにも、いろいろなお話ができればと思っています。</p>	危機管理部
安心・安全	防災対策	防災対策について市庁舎や避難場所の常用電源の浸水対策は十分ですか	<p>「市庁舎や避難場所の常用電源の浸水対策」について、まず本庁舎につきましては浸水想定区域から外れてはいますが、電源が地下にありますのでその安全確保を行っているところです。また、現在、防災対策強靱化の取組を進めています。これから整備していく災害対策本部棟は、本庁舎から独立して建築します。非常用電源も本庁舎とは別にし、耐震、浸水にも耐えられるものを作らせていただきます。</p> <p>避難場所である小中学校の体育館等につきましては、施設が停電した場合の非常用電源として、各小中学校等にある防災倉庫の中に、ポータブル発電機等を備えています。また、学校の職員室にも、非常用バッテリー、蓄電池も整備をさせていただいています。防災倉庫につきましては、過去に浸水等の影響でものが使えなくなった倉庫もあったということで、市の方でかさ上げ等の浸水対策を実施した場所もあります。地域の防災訓練等で防災倉庫内の機材が濡れていた、浸水した形跡があった場合には、危機管理課へ連絡いただき、対策を検討したいと思います。</p>	危機管理部
安心・安全	防災対策	小菊荘は広域避難所になっているが現在はどうなっている	<p>「小菊荘の避難所利用」について、小菊荘は現在、地震の際の大石自治会の指定避難所となっています。風水害の時には、小笠北小学校に避難していただくようになりますが、地元の避難所としては小菊荘となっています。大石自治会からの小菊荘使用に関する相談は、危機管理課の方で受け付けています。小菊荘の管理状況もありますので、地元の皆さんのご意見をお聴きしながら、引き続き調整・協議してまいります。</p>	危機管理部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
安全・安心	消防団	消防団員の不足	「消防団員の不足」について、全国的に課題となっている消防団員のなり手不足は菊川市でも同様であり、菊川市消防団の条例定数364人に対し、現時点で約100名程度の定員割れとなっているため、現在までに査閲大会の廃止や消防団協力事業所の認定などの消防団員の負担軽減を進めるほか、活動に伴う手当の見直しや、消防団車両の運転に必要な準中型免許取得費用への補助制度の開始、消防団応援の店の認定など消防団員が享受できるメリットを増やし、消防団員となることの魅力を増やす取り組みを進めています。	消防本部
安全・安心	消防団	消防団の蔵置所の老朽化対策、消防団の再編、消防団の組織・仕組みは代替え案について	「消防団の蔵置所の老朽化対策」について、全ての蔵置所において点検を実施し緊急度が高い箇所から必要な修繕を実施しております。 「消防団の再編」について、現在までに小学校区単位を原則として見直しを進めてきたなかで、六郷地区の再編が未着手となっていることは事実ですが、消防団との話し合いのなかでまだまだ解決しなければならない課題や問題が多くあることから再編まで至っておりません。消防団事務局である消防総務課でもこのことについては喫緊の課題と捉えてはいるものの、地域の皆さまのご意見はもとより、現役団員のご意見も伺ったなかで再編を進めて行くべきであると考えておりますので、今しばらくのお時間を頂き、関係各位との意見交換や検討を進めてまいります。 「消防団の組織、仕組みの代替え案」について、現在の所、六郷地区の再編が完了したところまでが完成と考えているため、代替え案などの検討は行っておりません。	消防本部
安心・安全	温暖化対策	「ゼロカーボンシティ宣言」の市民の理解度	「ゼロカーボンシティ宣言の市民の理解度」について、菊川市では令和5年2月に「ゼロカーボンシティ宣言」をしましたが、市民の皆さんには、まだまだ浸透していないというのが実情かと思えます。現在、ゼロカーボンシティを実現するための計画を策定しており、まず令和4年度は菊川市の行政、市役所庁舎や学校など、公共施設でゼロカーボンシティに取り組むためには、どのようなことを実施していくかという計画を策定させていただきました。令和5年度は区域施策編ということで、例えば、市民の皆さんや企業の皆さん、それから、産業面でこのような取り組みをしてゼロカーボンシティを実現していきましょうという計画を策定しています。 ゼロカーボンシティ実現に向けた具体的な取組としては、太陽光等の自然エネルギー利用促進補助金や、今年度からは省エネ家電への買い替えに対する補助金も出しています。また、中小企業向けに省エネ設備導入に対する補助金等も実施しており、このような地道な事業を通じて、ゼロカーボンシティを実現していきたいと思っています。確かに、まだまだPRが足りてない、できてない部分が多いものですから、これからさらに力を入れていく分野だと思っています。	生活環境部
その他	自治会	納付金について、表現（納付とは税金を納めること）、集金方法、自治会長への依頼文文面（会や募金の目的や金の使い方方を明記すべき）	「納付金についての表現、集金方法、自治会長への依頼文文面」について、毎月1回、連合自治会役員会を開催させていただいており、市や社会福祉協議会など様々な団体が、自治会の皆さんにご負担をいただく際のお願いをさせていただいています。「納付とは税金を納めること」というお話もございましたが、文書表現等につきましてご意見もいただきましたので、連合自治会役員会の皆さんにも相談にのっていただき、どのような表現方法が適正であるか、どのような文章にすれば意図がうまく伝わるか等、研究させていただきたいと思っています。また、このようなご意見がございましたら、地域支援課にお寄せいただければと思います。	総務部
その他	自治会	建設課への要望書の文言（採択・施工くださいますよう）自治会がここまで市に対してヘリ下らなければならないのか	「建設課への要望書の文言」について、「くださいますよう」といった言い方、文言についてご意見をいただきましたが、内容について見直しをかけさせていただき、適切な言葉についても検討させていただきます。	建設経済部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
その他	自治会	人口減少に対抗するには労働人口を定年65歳としないこと。自治会役員65歳を市主導で変えてほしい	「自治会役員65歳を市主導で変えてほしい」について、以前は60歳で定年を迎え、地域に戻っていただき、自治会長をはじめ自治会の役員を担っていただく方が多くいらっしゃいました。しかし、近年は雇用延長や定年延長、再雇用といったかたちで、65歳以降も会社に残る方が大勢いらっしゃいます。そうするとやはり、自治会役員の成り手がいなくなったり、自治会の皆さんの負担感が非常に強いと感じられているのかと推察されます。 自治会の皆さんが負担に感じるの、行政文書が多いことや、様々な役を選んで市に報告しないといけないこと、いろいろなイベントや行事に出席しないといけないこと等と伺っています。自治会役員の皆さんの負担軽減につきましては、連合自治会役員会等でもお話していく中で、負担軽減を進めていくための方針を作らせていただきました。まずは、行政文書の削減や、市のイベント・行事に対する自治会役員の皆さまへの出席依頼を減らす等、できるところから進めているところです。自治会活動はこれからも、まちづくりに大切なものがございますので、引き続きご協力をお願いいたします。	総務部
その他	地域振興	地区の課題 行政はどうとらえているのか	「地区の課題を行政はどうとらえているか」について、特定の地区に限らず、市全体に共通する課題が人口減少、少子・高齢化であり、学校の問題等にも影響してくると考えています。また、やはり治水対策、水治めの問題は各地区の課題だと思います。地区ごとに、具体的なもう少し細かな課題はいくつかあるかと思いますが、市としては皆さまからご意見を伺いながら、それぞれの課題に対応していきたいと考えています。	企画 財政部
その他	地域振興	小笠地域のまちづくり	「小笠地域のまちづくり」について、まず掛川浜岡線バイパスを、あと2年ほどで何とか開通させたいと考えています。予算的には令和6年度予算で開通を見込んでおりますが、場合によっては、多少伸びる可能性もあると考えています。それから、青葉通り嶺田線の整備を行っていきませんが、延長が長いこと、事業費も25億円以上ということもありますので、全ての事業が完了するのが令和15年を考えています。また、治水の関係で岳洋中学校の校庭貯留や、棚草川に隣接した農地への貯留施設の整備を行います。貯留施設といいますが、水が溜まるだけのプールを作っても、市民の皆さんにとって意味のない施設になってしまいますので、平時にはいろいろな事に利用できるように施設を検討していきたいと考えています。このような事業を中心に小笠地域のまちづくりを進めていきたいと考えています。	建設 経済部
その他	環境	令和4年度の市政懇談会で質問した「アパート専用ごみステーションの設置」について、管理会社等へ具体的なアクションを起こしているのか。定期的な指導・周知と、悪質な場合は強い態度で望んでもらいたい。	「アパート専用ごみステーションの設置」について、アパートを建てる際には、地域にとってさまざまな問題が発生する恐れがあるため、事業者（管理会社等）と話をさせていただいて、事前に一つでも解決していくことがスタートだと思っています。また、事後の話として、対応が徹底されていないため、地域の皆さまにご迷惑をおかけしている場合には、事業者に対して指導をしていく必要があると思います。個別ケースに関しまして、ゴミの問題等でお困りの件がございましたらぜひ、担当しております環境推進課へご相談いただき、一緒に解決策を見出していきたいと考えています。ごみステーションに関しては、アパートの問題だけでなく、無記名のごみ袋、指定以外のごみ袋、分別できていないごみ等、いろいろな相談をお受けしており、監視カメラの貸し出し等も行っています。具体的な事例がございましたら、まずは環境推進課にご相談いただき、解決に向けて取り組んでまいりたいと思います。	生活 環境部
その他	環境	環境資源ギャラリーの状況（令和7年から全量外部委託する理由と経緯）	令和7年度からのごみ処理については経済性、安全安心、安定性等を考慮し、以下の理由等から全量外部搬出としました。 経済性・・・現在の施設を延長利用するよりも、全量外部搬出とした方が安価であること。 安全安心・・・現在の施設に修繕を施しても突発的な故障リスクが残ること。 安定性・・・現在施設を管理委託している会社から施設修繕では「安定的な運転管理は不可能である」との見解が示されたこと。	生活 環境部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
その他	多文化共生	現在約8%の外国人がいます。近い将来10%を超えると思われますが外国人に対する施策は	<p>「外国人住民に対する施策」について、令和5年10月末時点で菊川市内には3,954人、人口の8.3%、国別に見ますと33カ国の外国人住民がお住まいになっています。一番多いのはブラジルの方で約53%、次いでフィリピン24%、ベトナム、中国、インドネシアとなっています。現在、働き手不足ということで外国人人材を、例えば製造業や介護の担い手としてお迎えしようという動きもあります。今後、国の施策によっても、本市における外国人住民の割合や、人口は変わってくると考えています。</p> <p>菊川市としての外国人住民への支援や施策ですが、市役所には通訳者や相談員を配置しています。相談員には、毎月本当に多くのご相談をいただいております。一つ一つ丁寧にお答えしているところです。また、職員でも令和5年4月から、初めて外国籍の職員を1名採用しました。市役所においても、このような取り組みを進める中で、多文化共生、外国人住民の支援を進めてまいりたいと考えています。</p> <p>コミュニケーションや生活支援につきましても、言語が一番大事になってきますので、日本語教室の開催や、日本の学校に通う前のお子さんには、まずは「虹の架け橋教室」という教室に入ってください、基礎的な日本語を勉強してから小学校・中学校に入ってくださいような支援も行っています。また、国際交流協会への活動支援等、本市は県下でも最も外国人比率が高い自治体ですので、これまでも力を入れてきましたが、今後さらに支援を進めてまいりたいと考えています。</p>	総務部
その他	多文化共生	アジア系が多いことは分かった。欧米系のホワイトカラーの人々を呼び込む検討は現在進んでいるか	<p>「外国人、特に欧米系の方を呼び込む検討は」について、現在8%を超える外国人住民がお住まいになってます。一番多いのはやはりブラジルの方で50%を超えています。次いで、フィリピン、ベトナム、中国、インドネシアとアジア系の方が多く住んでいます。また、アメリカやカナダ、イギリスなど欧米の方もいらっしゃいます。外国人を呼び込む考えについてですが、市としては、様々な多文化共生施策を進めており、日本人住民、外国人住民で分けるのではなく、同じ菊川市民として市政に関わっていただき、一緒になって菊川のまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>	総務部
その他	多文化共生	外国人が8%、その子の学力が劣っていると聞いているので調査して救い上げてほしい	<p>「外国籍の子どもへの学習支援」について、日本人と同様な学力を持っているお子さんもおられ、特に語学が一つのポイントになっていると聞いています。市では、公立の学校に入る前に日本語の勉強をしていただくため、「虹の架け橋教室」を運営しています。まず、虹の架け橋教室に一定期間通っていただき、日本語に関する知識を得て公立学校へ入ることで、なるべくスムーズに学校生活に馴染み、相応の学力がつくようなお手伝いをしていきたいと考えています。</p>	総務部
その他	リニア水問題	リニア新幹線について	<p>「リニア中央新幹線建設に係る大井川の水問題」について、菊川市は水道水の97%、農業用水も工業用水も大井川の水に頼っています。県内でもため池が一番多いのは中東遠の菊川市と掛川市といわれるように、昔から水で苦労した地域であると認識しています。このような地域だからこそ、やはり水量・水質がしっかりと担保されることが一番重要なことだと考えています。菊川市としてはリニア工事に反対はしていません。ですが、水量・水質については何かあっては困りますので、ここについては、「しっかりと議論を重ねていただいて、市民にもしっかりと伝わるようにしていただきたい」と、JR東海にも、県にも、国にもお話をさせていただいています。</p> <p>田代ダム案の話もありますが、当然、田代ダムの水は水に変わりありませんので、こちらに回ってくるとなれば、たとえ水が減ったとしてもその水が確保できれば有効な手段であると考えています。ただし、水利権がどこにも動くものではないと聞いています。水利権がどこにも動かないとなると、一体誰がこの流域の市町に対して補償してくれるのかということが明確でない。ですから、そこをはっきりとする必要があるのではないかと。いずれにしても、国がしっかりと関わっていただきたいという話をさせていただいています。</p> <p>最近では、リニア工事についてスピード感の話が出始めています。環境の話で、あの地域には貴重な生物がいるということも含めて大事な事だと思いますが、やはりスピード感を持って動くことも国策といわれているリニアの工事については、大事なことなのかと思います。ただし、スピードが上がるから安全性がなくなりますっていうのは困りますので、そこはしっかりと訴えていきたいと思えます。</p>	企画財政部
その他	リニア水問題	リニア工事に係る発生土の問題	<p>「リニア中央新幹線建設に係る発生土の問題」について、非常に多くの土砂が発生しますので、それについては燕（つばくろ）という地区への盛土をJRが検討しています。県の方でも、工事前に安全性の十分な確認が必要、それから今後の管理方法や災害時の責任の所在もちゃんと確認する必要があるというところで現在、協議をしているところです。この件に限らず、市としましても将来の水に不安がないよう、様々な会議の場がございますので、発言すべきことは市から申し上げていきたいと思えます。</p>	企画財政部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
その他	菊川病院	菊川病院の経営が苦しいと聞いているが現在どうなのか	<p>「菊川病院の経営が苦しいと聞いているがどうなのか」について、病院の経営が苦しいという考え方の視点として、医師や看護師が確保できず診療が維持できないということがあります。僻地の病院ではこのような傾向があるかと思っています。菊川病院は総合病院として運営していますが、やはりこの地域については医師の数が非常に少ない。また、看護師をなかなか確保するのが難しい状況です。また、医師の過重労働といえますか、働き方改革が話題になっておりまして、やはり医師の配置も改めて考えなくてはならなくなります。先ほど言ったように、この地域はもともと医師の数が少なく、浜松医大から派遣していただいているところですので、連携しながら、何とか維持していきたいと思っています。</p> <p>総合病院として維持していくためには、それなりの医師を確保していかなければいけません。なかなか医師が確保できないという厳しい面もありますし、やはり金銭的にも苦しくなってきます。大切なことは、掛川の中東遠医療センターや磐田病院等、地域の中核となる病院と連携しながら、病院の運営を考えていくことが必要になってくるのと思っています。現在、菊川病院では経営強化プランを作っており、その中でも医師の働き方改革や、近隣病院との連携・機能分担の話が出ています。</p> <p>市から病院に、令和5年度はおよそ11億円のお金を出させていただいています。これは総合病院として救急医療や、産科を維持していくためには必要となりますが、やはり基準以内で、ある程度認められる範囲で出していくことが重要と考えています。このようなことも含めて経営強化プランを作っています。確かに苦しいですが、菊川病院は地域に欠かせない病院ですので、持続させていくという努力を、皆様のご理解いただきながら進めていきたいと思っています。</p>	菊川病院
その他	その他	アエル出演者から音響が素晴らしいと言われ嬉しかった。ただ、人気公演の際、駐車場が少なく時間がかかった。整備をしていただきたい	<p>「アエル出演者から音響が素晴らしいと言われ嬉しかったが、人気公演の際駐車場が少なく時間がかかった」について、文化会館アエルの音響につきましては、昨年度スピーカーをかえる等の対応をさせていただき、「素晴らしい」とご意見いただき本当に嬉しく思います。ありがとうございます。</p> <p>駐車場の件につきましては、大規模なコンサートが開催された際にも、来場者の皆さんにご迷惑をおかけしたと報告を受けたこともあります。アエルの運営を担っているSBSプロモーションには、駐車場整備を増やすなどスムーズな運営ができるようお伝えしています。現在、文化会館アエル駐車場、インター前に駐車場がありますが、新たな駐車場を整備することはすぐには難しいと思います。駐車場整備の人員を増やす等、運用の方で対応させていただきたいと思います。</p>	教育文化部
その他	その他	マイナンバーカード登録は現在何%くらいか	<p>「マイナンバーカード登録は現在何%くらいか」について、令和5年4月末時点で83%ぐらいだったものが、11月には85%程度に申請段階ではなっています。県の平均より少し高く、県内35市町の中でも、半分より少し上にいる状況です。マイナンバーカードの申請につきましては、これまでオンラインまたは、市役所に来ていただいていたのですが、地区センター等の公共施設で出張申請サポートなども実施しています。まだお持ちでない方は、こういった機会も利用しながら、マイナンバーカードを取得していただければと思います。</p>	生活環境部
その他	その他	市営保養センターの今後のあり方	<p>「市営保養センターの今後のあり方」について、小菊荘は現在、宿泊・宴会等を中止している状況です。令和4年度までは指定管理者制度ということで、民間事業者が業務を担っていただいていたのですが、コロナ禍ということもあって宿泊者が非常に減少しました。それから、法事等での利用も減りましたし、人をたくさん集めての宴会も無くなったということもあり、運営上厳しいという中で、令和4年度をもって撤退したという状況です。当然、新たな事業者を募集したわけですが、やはり現在の状況に鑑みて、経営的には厳しいという判断をすることが多く、応募者がいなかったという状況です。</p> <p>今後の活用についてですが、建物がありますので、そのまま活用できれば良いですが、リノベーションして新しい全く違う形態になる可能性もあります。いろいろなところへ行って、事業者さんに声を掛けていますが、話を聞いてもなかなか手を上げてくれる事業者が少ないというのが現状です。完全に閉館するわけにはいかないため、大石地区の皆さんにご協力をいただいて、日中は当番をしていただいている状況ですが、引き続き活用していただける事業者を募集していきたいと思っています。</p>	建設経済部
その他	その他	野球のナイター設備について	<p>「菊川公園のナイター照明」について、令和5年度に照明のランプをLED化しています。今年度中に工事が完了しますので、来年度はナイターで使えるようになります。小菊荘につきましては、現在、新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場として使っており、レフト側に採石をひき駐車場になっていますが、復旧して使えるようにしたいと思っています。</p>	建設経済部

項目	分類	質問・意見の内容	市の回答	担当
その他	その他	ふるさと納税について。菊川市に入るべき税金がどのくらい流出しているのか。またどのような対策をしているのか	令和4年度寄附に対する市民税控除額は「77,652,740円」となりました。一方で、本市へのふるさと納税の寄附増額を目指し、多くの高額寄附者が選ぶゴルフ場において現地で寄附できる環境を整備することや、高所得者層が利用するポータルサイトを新たに導入するなど、高所得者層をターゲットに、寄附単価を増やす取り組みを進めております。	建設経済部
その他	その他	住みやすいまちにするために、コミュニティバスの利用方法や利用状況	「コミュニティバスの利用方法や利用状況」について、コミュニティバスは民間の路線バスが通っていない公共交通の空白地域を補うよう網羅的に路線設定し、安全運行を維持する中で、自治会などからの要望に応じて経路を変更するなど利便性などの向上に努めております。 令和5年度の運行路線は、定時定路線運行7路線、デマンド運行2路線で、運行頻度は、コースにより異なりますが、1日4便から6便、主に市内の病院や商業施設の開設時間帯に沿った午前7時頃～午後5時頃で運行しております。 利用方法は、毎年3月に自治会配布文書で配布します「コース図・時刻表」にてお知らせするほか、出前行政講座にて「コミュニティバスの乗り方教室」を開設しておりますのでご活用をご検討いただければと思います。利用状況は、令和5年12月現在で、1日当りの利用者は128.9人の方がご利用されております。	総務部